

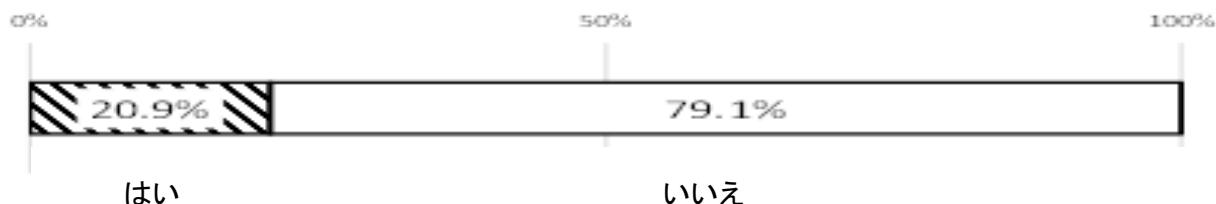
■ 人口減少と少子高齢化の影響



コミュニティの活力低下

- 少子高齢化や核家族化が進むなかで、地域活動の担い手が高齢化

【地域活動に参加している】



- 地域活動に参加している人は減少傾向

資料：平成27年度区民モニターアンケート

(地域活動に取り組んだことがあると答えた区民)

平成25年度：36.0% ⇒ 平成26年度：33.9%

高齢者等の要支援者の増加

- 港区の平成27年の高齢化率は26.2%と年々増加。特に後期高齢者の増加が顕著。
- 社会経済状況の変化に伴い、経済的困窮、社会的孤立、虐待の増加など福祉課題のさらなる増大、深刻化が進行。

小規模な小学校の増加

- 区内の11小学校のうち、5校が適正配置の対象の11学級以下の学校となっている
- そのうち4校は、平成31年度以降は全学年単学級になる見込み
- 児童の教育環境の改善のため、学校の規模と配置の適正化が必要

「住みたいまち」、「住んで誇りに思えるまち」に 向けて



まちの安全・安心を高める

- 地域福祉の推進
- 防災・防犯対策の推進
- コミュニティの活性化

まちのにぎわいづくり

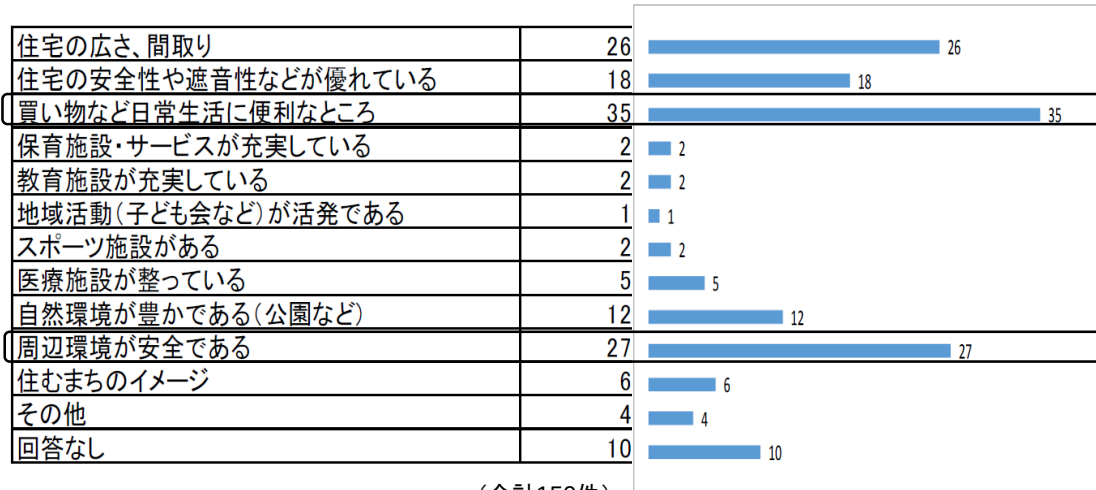
- 地域資源を活用したまちづくり
- 観光施策と連携した築港エリアのまちづくり
- まちの魅力の発信

子育て・教育環境の充実

- 子どもの学力・体力の向上
- 待機児童対策
- 多様な保育サービスの充実
- 学校の規模と配置の適正化

重視する居住環境（港区転入・転出者アンケート 平成28年3月実施）

（59人回答、複数回答あり）

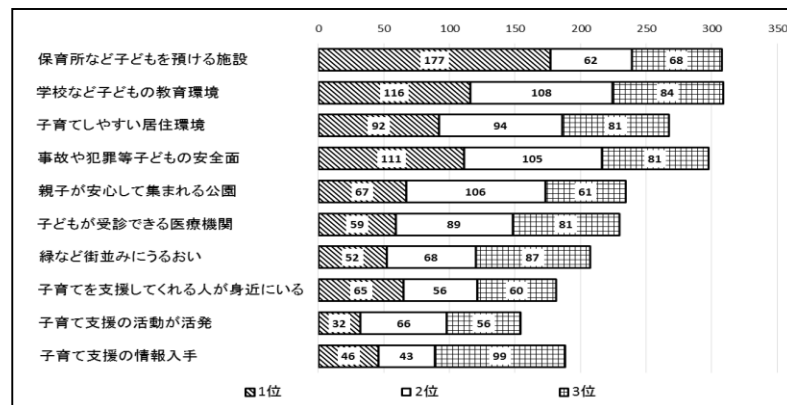


（合計150件）

上記の表は転入者へのアンケート結果、転出者の結果も同様の傾向

子育て世代が重視する項目

平成27年度
子育て世代への
アンケート結果



■ 前ビジョンから継続する主な考え方

いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区

- ① 区民意見を反映する区政運営を「横糸」、各地域の主体的な地域活動を「縦糸」として、横糸と縦糸が交わる強いネットワークで港区にふさわしい安全・安心のまちづくりを進める
- ② 八幡屋公園、築港・天保山など、港区の「強み」を活かしたまちづくりを進める

■ 新ビジョンで重点を置く分野



(1) まちの安全・安心を高める

地区防災計画に基づく主体的な取組の促進

- 平成26年度に全地域の地域活動協議会が策定した、「地区防災計画」に基づく各地域の実情に即した地域主体の取組を促進する
- 災害時の避難行動に支援を要する人への避難支援が円滑に進むように支援する

地区防犯行動計画に基づく自主防犯活動の促進

- 平成26年度に全地域の地域活動協議会が策定した、「地区防犯行動計画」に基づく地域の団体やグループにより行われる防犯パトロールなどの自主防犯活動を支援する
- 登下校時や放課後における子どもの安全確保や犯罪から子どもを守る取組を強化する

地区福祉活動計画に基づく地域福祉の促進

- 平成25年度に全地域の地域活動協議会が策定した、「地域福祉活動計画(アクションプラン)」に基づく地域福祉活動を促進する
- 支援を必要とする人の身近なところで、相談や見守り活動、緊急時の一時的な援助が行えるよう、地域における支援のネットワークを拡充する

豊かなコミュニティの醸成

- 地域課題解決に向けた「地域活動協議会」の取組を積極的に支援する
- 弁天町駅前土地区画整理記念事業として整備する「(仮称)記念会館」については、幅広い世代が出会い、活動し、交流できる「起点」となるよう、平成33年度の完成をめざして事業内容等の検討を進める

**平成28年度の
主な取組と予算** ①地域防災活動支援事業（2,588千円） ②子どもの安全見守り防犯カメラ（1,078千円）
③シニアサポート事業（14,748千円） ④地域活動協議会への支援（27,189千円）

■ 新ビジョンで重点を置く分野



(2) 活気あふれるまちづくり

まちの魅力の発信

- 特色やオンリーワンの技術を持つ企業や商店、活発な地域活動の紹介など
区内の魅力ある「ヒト・モノ・コト」を紹介し、まちの魅力発信する
- 港区の地域資源をモチーフにしたオリジナルな商品やイベントなどの「みなトクモン」を
創出する取り組みを積極的に広報・周知することにより、まちの魅力を発信し、区民の
わがまちの魅力の再発見と愛着の醸成をめざす

築港地区のにぎわいづくり

- 集客観光拠点の形成に向けた観光施策の取組と連携して、まちづくりの視点から地域
のにぎわいや活性化をめざす
- イベントも含めた地域のまち魅力の情報をきめ細かく積極的に発信するとともに、観光
施策と連携して、国内外に発信する
- 民間活力を活用した官民協働による中長期的な「築港・天保山まちづくり計画」を策定

平成28年度の 主な取組と予算

- ① 港区魅力発掘・創出事業(1,371千円)
- ② 築港・天保山地区まちづくり計画策定の検討調査(5,326千円)
- ③ 海と川をつなぐ水辺のにぎわい事業(1,000千円) など

■ 新ビジョンで重点を置く分野



(3)子育て・教育環境の充実

子どもの学びを応援

- 学校園と連携し、区の特性や強みを活かして学力・体力の向上を支援
- 家庭学習の促進を図るため、学校・PTA・地域等と連携するとともに、塾代助成事業など、学校教育以外の学習の場への児童生徒の参加を促進
- 子どもたちの豊かな社会性を育むため、商店街や企業、地域団体と連携して、子どもたちの体験学習や職業体験、機会を充実
- 児童の教育環境の改善のため、学校の規模と配置の適正化を進める

「子育て世代」を応援

- 「小規模保育事業」を実施するなど、待機児童ゼロをめざすとともに、共働き世帯のニーズにも応える「病児保育」をはじめとする多様な保育サービスの充実を図る

平成28年度の
主な取組と予算

- ①地域の強みを活かした教育力向上事業(730千円)
- ② 家庭学習の促進(175千円)
- ③多様な保育サービスの提供(13,600千円 区CM予算)